



### (1) 四ヶ国親善会議に参加して。

1988年3月7日～9日の3日間にわたって、フィリピンのマニラ市マニラホテルにて日本・フィリピン・韓国・台湾四ヶ国親善会議 (Inter-Country Friendship Forum) が開催され、当255地区からは、大橋P.G.、館野P.G.ご夫妻、小竹P.G.そして私達夫婦の他、潮来R.C.、真岡R.C.メンバーや地区国際奉仕委員の方々総勢30名が参加致しました。この会議は去る2月19日に東京椿山荘に於いて開催された第3回ガバナー会に於いて菅野元 R. I. 理事より発言があり、日本からも出来るだけ多くの関係者の出席が要請されましたが、この親善会議には当255地区が最初から深く関わっておりますので先ず簡単にこの経緯をご説明致します。話は4年前1984年4月に遡ります。

(1)1984年4月鈴木年度の年次大会が塩原で開催されそのタウンミーティングに於いて「アジアのロータリーの将来を考える」というシンポジウムの中でアジア四ヶ国の親善会議の

必要性が提案されました。

(2)続いて1985年11月同じ塩原で第4回の日比ワークショップが開催された席で正式に4ヶ国共同委員会が提唱され菅野 R. I. 理事を議長とする委員会が誕生しました。

(3)しかしその後何らの進展も見せず2年が経過しましたが、1987年11月大橋P.G.が地区のスポーツ少年交換チームを引率して訪比の際この話が再度提出され、1988年1月に実行委員会が組織され、第一回の4ヶ国親善会議が3月7日～9日にわたり開催される事になった訳であります。

今回は準備の期間が十分になかった為台湾から4名、韓国から3名(何れもP.G.)の出席でしたが、大変活発な会議になりました。3月7日午後から開催された第一本会議では基調講演として元 R. I. 第二副会長の Paco Delgado博士(比D-381)より、4ヶ国の親善の意義が強調されました。第2日目の本会議に於いては、4ヶ国のロータリーの現状が報告され、その後D-381 DGN Oshie De Veneclia から「1000マイルの第一歩」という講演があり、続いて4ヶ国より今後この会議をどの様に発展させて行くべきかの討論が行なわれ、日本からは大橋P.G.が説明されました。午後の第三本会議に於いてはW.C.S.とポリオプラスに就き発表が行なわれ日本からは北海道D-251の河邨P.G.が報告され、大きな反響を呼びました。

この親善会議に於いて最初から最後まで私はD-381ガバナー Relly Reyes と並んで議長

を勤めましたが、準備期間の短かった割には大変内容の充実した会議になったと思います。終りにこの親善フォーラムの今後のすすめ方に就いての決議文が採択され大変友好的な雰囲気の中で会議が終了しました。

#### 次に決議文の概要を略記します。

- (1)Inter-Country Friendship Forum (I.C.F.F.)は1988～89年以降毎年1回継続して開催される事。
- (2)I.C.F.F.は先ず4ヶ国の親睦を計り、相互理解を深めることから始める。
- (3)I.C.F.F.は次回1989年2月乃至3月台湾に於いて開催されること。
- (4)第3回は1990年日本、第4回は1991年韓国以下この順番により、開催されて行く事。
- (5)日本D-255大橋P.G.は、4ヶ国の代表をメンバーとする次の目的を持つ委員会の草案を作る事を委任された。
  - ①I.C.F.F.の基本骨格の作成。
  - ②I.C.F.F.を統括するルールと手引の作成。
- (6)次の会議に於いて推奨され、討議され、承認される様な議題はこの連絡委員会に委任されるものとする。なおこの会議には将来オブザーバーとして、4ヶ国以外の国も招聘される事もある。

